

14. 製品安全データシート

# 製品安全データシート

M S D S 番号 S-01

改訂日：2013年7月29日

製品名

ギムザ染色液 SGS-800

## 1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称： ギムザ染色液 SGS-800  
会社名： 武藤化学株式会社  
住所： 東京都文京区本郷2-10-7  
電話番号： 03-3814-5511  
FAX番号： 03-3815-4832  
緊急連絡先： 学術課 TEL. 03-3814-5511  
推奨用途及び使用上の制限：

## 2. 危険有害性の要約

### GHS分類

物理化学的危険性：	引火性液体	区分2
健康に対する有害性：	急性毒性（経口）	区分3
	急性毒性（経皮）	区分3
	急性毒性（吸入）	区分3
	特定標的臓器・全身毒性 （単回暴露）	区分1

### ラベル要素

絵表示又はシンボル：



注意喚起語： 危険

危険有害性情報：

H225 引火性の高い液体および蒸気  
H301+H311+H331 飲み込んだり皮膚に接触したり吸引すると有毒  
H370 臓器の障害

注意書き：

P210 熱/花火/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。－禁煙  
P233 容器を密閉すること。  
P240 受器を接地すること/アースをとること。  
P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。  
P302+P352 皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。  
P304+P340 吸入した場合：被災者を空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
P309+P310 暴露した時または気分が悪い時は、直ちに医師に連絡すること。  
P403+P235 涼しい所/換気の良い場所で保管すること。

### 3. 組成、成分情報

単一物・混合物の区別：	混合物
化学名又は一般名：	メタノール
含有率：	約45%
化学式：	CH <sub>3</sub> OH
官報公示整理番号	
(化審法)：	(2)-201
(安衛法)：	公表
C A S 番号：	67-56-1
E C 番号：	200-659-6

---

### 4. 応急措置

目に入った場合：	流水で十分に洗い、眼科医の診断を受ける。
皮膚に付着した場合：	直ちに付着又は接触部を大量の水で十分に洗い流す。 汚染された衣服や靴を速やかに脱がせる。医師の手当てを受ける。
吸入した場合：	直ちに新鮮な空気の場合に移動し、毛布等に包んで安静保温し、速やかに医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合：	口をすすぐ。無理に吐かせず、直ちに医師に連絡し指示を受ける。

---

### 5. 火災時の措置

消火剤：	水、泡、炭酸ガス、粉末
特有の危険有害性：	引火性物質。蒸気は空気より重く、床に沿って拡散する。 火災時に有害ガスを発生、フラッシュオーバーに注意すること。 常温で、空気と混合して爆発性混合物を生成する。
消火を行う者の保護：	適切な保護具を着用し、安全な場所から消火活動を行う。
その他：	移動可能な容器は速やかに安全な場所に移し、霧状水で容器を冷やす。 消化の為の放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないように適切な措置を行う。

---

### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項：	蒸気を吸い込まないように注意する。 露出物との接触を避ける。 適切に換気すること。 作業の際には保護具を着用し、風上から作業すること。
環境に対する注意事項：	下水施設に流してはならない。爆発性。
回収・中和：	吸収剤に吸着させて、適切な廃棄処理を行う。 露出箇所はきれいに清掃する。

---

### 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い：	密閉化した設備または局所排気を用いる。 炎、火災若しくは高温体との接近を避けるとともに、みだりに蒸気を発生させない。 点火源を遠ざける。 静電気の発生には注意を払うこと。 吸い込んだり眼や皮膚および衣類に触れないように、適切な保護具（保護眼鏡・保護手袋・保護長靴等）を着用し、出来るだけ風上から作業する。
------	--

保管： 容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずる等、粗暴な取扱をしない。  
容器は気密性を保つ。  
乾燥状態で保管する。  
換気のよい場所に保管する。  
点火源、熱源を避けて保管する。  
常温（15～25℃）で保管する。

---

## 8. ばく露防止及び保護措置

### ばく露防止措置

設備対策： 取扱い場所の近くに、緊急時に洗眼、身体洗浄を行う設備を設置する。  
衛生対策： 眼、皮膚および衣服に触れないようにする。  
作業終了後は手洗い、洗眼を充分に行い、作業衣等に付着した場合は着替える。  
皮膚保護の為にスキンケアを使用する。

### 保護具

呼吸用保護具： 蒸気発生の場合は、呼吸保護具を使用する。  
その他の保護具： 難燃性の帯電防止保護衣を着用する。  
その他： 適切な保護服・保護手袋・保護眼鏡等を着用する。

---

## 9. 物理的及び化学的性質

形状： 液体  
色： 青色  
臭い： メタノール臭  
密度： 0.79g/cm<sup>3</sup> (20℃)  
蒸気圧： Ca. 125hPa (20℃)  
沸点： 65℃  
引火点： Ca. 12℃  
自然発火点： 455℃  
爆発限界： 下限 5.5%(V) (メタノール)  
                  上限 36.5%(V) (メタノール)  
オクタノール/水分係数： log Pow = -0.74  
溶解性： 水に溶ける。

---

## 10. 安定性及び反応性

反応性： 蒸気は、空気と爆発混合物を生成するおそれがある。  
安定性： 常温では安定な物質である。  
危険有害反応可能性  
発熱のおそれ： 酸ハロゲン化物、酸無水物、酸、還元剤  
爆発のおそれ： 酸化剤、ジエチル亜鉛、ハロゲン、（粉末状の）マグネシウム、過酸化水素  
危険なガス/蒸気を生成するおそれ：  
アルカリ金属、アルカリ土類金属、水素  
避けるべき条件： 熱。引火点マイナス15Kを臨界値とみなす。  
混触危険物質： マグネシウム、プラスチック、亜鉛合金

---

## 1 1. 有害性情報

皮膚に付着、目に入った場合：

皮膚から吸収される。

眼をわずかに刺激する。

吸入した場合：

呼吸器官を刺激する。

吸収された場合：

吐き気、嘔吐をおこす。

頭痛、めまい、酩酊状態に陥る。

視力障害、失明（視神経の不可逆的障害）をおこす。

飲み込んだ場合：

吸収される。

その他の有害性：

毒性に関する量的なデータはない。

アシドーシス、血圧降下、興奮、痙攣、昏睡状態が現れるおそれがある。

症状が出るまでの潜伏期間がある。

この他の有害性を否定することはできないが、それらを予測評価するための十分な知見はない。

---

## 1 2. 環境影響情報

生体蓄積性：

蓄積性は見られない。

その他：

自然水、下水、土壌の汚染を避ける。

溶解性が低いため、十分な注意を持って取り扱われるならば、水生生物への有害な影響は予測されない。

---

## 1 3. 廃棄上の注意：

残余廃棄物：

関連法規及び市区町村条例等に従い、産業廃棄物として廃棄すること。

容器包装：

空容器には残余物がないようにし、関連法規及び市区町村条例等に従って適切に廃棄すること。

---

## 1 4. 輸送上の注意

国連番号：

1230

品名：

METHANOL

クラス：

3 (6.1) /II

国内規制：

消防法： 第四類 アルコール類 II 水溶性

安全対策：

運送に際して漏れのないことを確かめ、直射日光を避け、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

---

## 1 5. 適用法令

消防法：

第四類 アルコール類 II 水溶性

メタノール

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律：

優先評価化学物質

労働安全衛生法第57条の2：

通知対照物質

労働安全衛生法第57条：

表示対照物質

労働安全衛生法有機則：

第2種有機溶剤等

---

## 1 6. その他の情報

引用文献：

国際化学物質安全性カード（I C S C）日本語版 化学工業日報社(1992)  
産業中毒便覧 後藤稔 他編 医歯薬出版(株) (1977)  
化審法の既存化学物質安全性点検データ集 (財)化学品検査協会(1992)  
Registry of Toxic Effects of Chemical Substances NIOSH CD-ROM (2008)  
The Merck Index 12th Edition Merck&Co.Inc (1996)  
14303の化学商品 化学工業日報社 (2003)  
製品評価技術基盤機構 <http://www.safe.nite.go.jp/ghs/list.html>  
中央労働災害防止協会 安全衛生情報センター GHSモデルMSDS情報  
[http://www.jaish.gr.jp/anzen/gmsds/gmsds\\_index.html](http://www.jaish.gr.jp/anzen/gmsds/gmsds_index.html)  
GHS分類集(I)(II):(社)日本化学物質安全情報センター  
国際化学物質安全性カード（I C S C）日本語版 化学工業日報社(1992)

特別注意事項

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、含有量、物質化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の手配を対照としたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。

---

記載内容の問い合わせ先

武藤化学株式会社 学術課

TEL:03-3814-5511